



「JENESYS2023」中国青年公益事業交流団第2陣の記録

1. プログラム概要

【目的】

本事業は、中国の政府機関や企業・大学で公益事業・ボランティアに従事する青年・学生等を訪日招聘し、分団別テーマである「科学技術」「環境保護」「文化芸術」の視察・交流等を通じて日本の同分野への理解を深めるほか、日本の青年との親睦や、日本の経済・社会・歴史・文化等が体験できる施設等の参観を通じて、対日理解の促進を図るとともに、日中間の友好関係を強めることを目的として実施しました。

【参加者】中国の政府機関や企業で公益事業・ボランティアに従事する青年等 72名

グループ1 科学技術 26名

グループ2 環境保護 22名

グループ3 文化芸術 24名

【訪問地】

グループ1 東京都・千葉県・熊本県

グループ2 東京都・埼玉県・栃木県

グループ3 東京都・埼玉県・徳島県・兵庫県

【日程】

■ プレプログラム

2024年1月17日（水） オンライン事前オリエンテーション

■ 招へいプログラム：

2024年1月21日（日）～1月27日（土）6泊7日

1月21日（日） 成田国際空港より入国

1月22日（月） 歓迎会

1月23日（火）～1月26日（金）

グループ別にテーマに関するプログラムを実施

(1) グループ1：テーマ「科学技術」

- 【講義】 「三越伊勢丹でのメタバース取り組みについて」
講師：株式会社三越伊勢丹
- 【学校交流・千葉】 神田外語大学にて日本文化体験、交流会、学食体験
- 【視察・交流】 (株)リーフファクトリートーキョー
HANEDA INNOVATION CITY「HANEDA × PiO」
- 【表敬・交流】 人吉市役所
- 【学校交流・熊本】 崇城大学にて日本文化体験、交流会
- 【文化体験】 人吉クラフトパーク石野公園（花手箱絵付け体験）
民泊体験（各家庭体験、夕食づくり）、温泉体験
- 【参観】 熊本城、青井阿蘇神社

(2) グループ2：テーマ「環境保護」

- 【講義】 「財団の活動とユース向け環境教育への取り組みについて」
講師：公益財団法人イオン環境財団
- 【視察・交流】 三富今昔村にて循環デザインマスターコース視察
クリーンパーク茂原焼却ごみ処理施設、若竹の杜 若山農場、
宇都宮ライトレール乗車体験・レクチャー
- 【表敬・交流】 日光市役所
- 【文化体験】 民泊体験（各家庭体験、夕食づくり）、温泉体験
- 【参観】 日光東照宮

(3) グループ3：テーマ「文化芸術」

- 【講義】 「気候風土と建築 ―かたちの理由―」
講師：東北芸術工科大学 山畑 信博 教授
- 【視察・交流】 角川武蔵野ミュージアムにてワークショップ体験、パソナグループ視察・
レクチャー、根津美術館、大塚国際美術館、淡路夢舞台、ニジゲンノモリ
- 【文化体験】 阿波おどり会館（阿波おどり体験）、民泊体験（各家庭体験、夕食づくり）、
温泉体験

1月26日（金） 都内視察、歓送報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

1月27日（土） 東京国際（羽田）空港より出国

2. 記録写真



2024 年 1 月 22 日 グループ 1【学校交流】
神田外語大学訪問、文化体験・交流会



2024 年 1 月 22 日 グループ 2【講義】
公益財団法人イオン環境財団による講義



2024 年 1 月 22 日 グループ 3【視察・交流】
角川武蔵野ミュージアム視察



2024 年 1 月 22 日【歓迎会】
団長、中国宋慶齡基金会 弁公室主任 陳愛民
一級巡視員による挨拶



2024 年 1 月 23 日グループ 1【視察・交流】
HANEDA INNOVATION CITY 視察



2024 年 1 月 25 日グループ 1【学校交流】
崇城大学訪問、大学生と交流



2024 年 1 月 23 日グループ 2【視察・交流】
若竹の杜 若山農場視察



2024 年 1 月 24 日グループ 2【視察・交流】
宇都宮ライトレール乗車体験



2024 年 1 月 24 日グループ 3【視察・交流】
大塚国際美術館視察



2024 年 1 月 25 日グループ 3【視察・交流】
淡路夢舞台 視察

3. 参加者の感想（抜粋）

グループ 1

◆この交流プログラムは「友好の旅」であり、神田外語大学でダンスを体験し、熊本阿蘇の民泊では現地の方々と共に生活し交流を通じ、日本文化への理解を更に深めました。彼らの温かさでフレンドリーさにとても感動しました。

「学習の旅」でもあり、日本の科学技術の発展について理解を深めました。崇城大学 IOT・AI センターを訪問し、日本の先端技術の発展を学ぶとともに、防災・減災における科学技術の応用について学んだことが印象深かったです。私は、人類に利益をもたらす科学技術の応用を強化する上で、両国が協力できる分野が数多くあると信じています。

◆私は日本語を勉強しており、日本文化に興味があります。交流活動を通じて日本文化に深く触れ、論文のテーマ選択を確認したいと思い、一つ一つの活動を注意深く聞き、観察しました。

崇城大学で触れたメタバースインタラクティブ空間や熊本の伝統工芸体験教室を通じて、伝統と現代のぶつかり合いが新たな発見につながるか楽しみです。

◆私にとってこの経験は最高でした。同時に、大学訪問、企業訪問、行政との交流、民宿への宿泊などを行い、日本の先進技術や現地の習慣などを最短の時間で効果的に体験しました。

最も直接的な方法は民間の方とのコミュニケーションでした。素朴で誠実な方たちで、社会福祉のこと、生活習慣、信仰のことなど、深い話になりましたが、民宿の方は知識が豊富で、国政に非常に関心を持っています。

グループ2

◆日本人は環境保護に対する意識が高く、道路脇にゴミ箱はほとんどありませんが、道路は非常にきれいであり、国民の環境意識の高さと自制心と行動意識の高さを反映しています。この点は我々も非常に学ぶ価値があり、高度な環境保護には、質の高い人々による支援が必要です。

環境保護に取り組む企業は長期的な視点で考えていて、廃棄物処理工場での「製品を作る際にはリサイクルを考慮すべき」という言葉が印象的でした。この考えは日本の企業文化に組み込まれています。高品質な開発を推進するために、国内企業はそこから学び、実行することもできます。

環境保護教育も広く行われており、どの訪問先でも、子どもたちを連れて学習に訪れる日本の家族の姿が見られ、子どもたちは幼い頃から知識や技術を習得しながら環境意識を確立することができます。それは美しい中国の建設への道につながる可能性があると思いました。

◆今回の訪問は環境保護がテーマでしたが、イオン財団の取り組みを聞いたり、ゴミ処理や市のカーボンニュートラルへの取り組みなどを知り、啓発を受けました。この概念は人々の心に深く根付いており、あらゆるレベルの政府が炭素削減に対する中央政府の取り組みを追いつけています。

中国と日本は国情が異なりますが、持続可能な開発計画と生態保護の点で交換できることはたくさんあります。今回の交流では、カーボンニュートラルの考え方を提唱する都市開発や、産業発展の過程で直面する社会保障問題などは今後の共同交流のテーマとなれると思います。

◆日本滞在中、建設廃棄物再処理事業や家庭廃棄物焼却発電事業を視察しました。2050年のカーボンニュートラル開発目標の達成に向けて、埼玉県、宇都宮市、日光市が取り組んでいるプロジェクトについて学びました。日本は比較的資源に乏しいため、資源のリサイクルや再利用が早くから行われており、その技術と経験は学ぶ価値があります。日本の農業・農村地域は高度な近代化・機械化が進んでおり、地方の消防救助施設や地震防災広場などの関連施設は比較的利便性が高く、地域計画と建設において一定の参考となる重要性を持っています。

日本は少子高齢化が深刻であり、中国も同様の危機に直面しており、この点における日本の具体的な対応策については、改めて深く学習したいです。

グループ3

◆日本の公共芸術施設の建設は非常にユニークで、博物館や美術館には多くの観光客が訪れ、特に高齢者や学生も多いことで、日本では芸術的興味の育成を非常に重視していると感じます。田舎ではよく研究した家が建てられていて、中庭や庭園、部屋に生け花などとても素晴らしく、誰もが文

化的、芸術的な功績を持っていると感じました。

深い感銘を受けるとともに、若者の芸術教育にも興味を持ちました。日本に来て、それについてもっと学ぶ機会が得られることを楽しみにしています。

◆角川武蔵野ミュージアムを訪れた後、日本の若い人たちが今でも紙の本に愛情を持っていることに嬉しい驚きを感じました。クオリティの高い図書をたくさん拝見させていただきました。

私が最も印象に残ったのは、日本の田舎を視察したことで、日本の農村が中国の農村と多くの共通の問題を抱えていることを知り、一般の村民の土地、食材、生活に対する愛情を目の当たりにしたことです。

◆最も刺激になったのはパソナグループとの交流で、人材会社として高齢化や遊休農地などの課題解決に積極的に貢献し、社会革新的な取り組みを数多く行っています。企業が対処しなければならない日本の社会問題の多くは中国にも存在しており、企業の話を知ると特に啓発されるでしょう。

また、最も深い経験となったのはホームステイで、日本社会や日本文化をより直接的に理解することができ、日本の高齢者の医療の具体的な状況を知ることができました。日本の高齢者介護と日常生活、より現実的な日本社会が見えてきました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆色々な世界情勢が語られる中、特に日中関係はあらゆる場面において強調され、緊張が走るが多々ありました。その中で、こうやってお互いを尊敬し合える学生、大人同士が交流することの大切さを学びました。特に自分はそう言った日中関係に対し、偏見や将来の不安を感じるが多々ありました。しかし実際話してみないとわからないことが多々あり、分かち合える感情もありました。

わざわざ日本の大学に来てくださり、また日本の文化を素直に受け止めてくださった中国の皆さんには尊敬の意と感謝を述べたいです。本当に楽しかったです。ありがとうございました。

◆日本の伝統文化として和太鼓を披露できたことは、とても貴重な体験でした。団体の皆さんに和太鼓の迫力や素晴らしさがお届けできていると嬉しいです。

また演奏後に設けられた昼食にて、団体のリーダーの方と名前に使われている漢字の意味を大切にされている事やお互いの国での文化や学業などについて話し、非常に充実した文化交流でした。英語でスムーズに交流できた事も、私自身の自信向上につながったと思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

第二天来到神田外语大学！和太鼓🥁和舞蹈💃超级酷！！超级震撼！和日本小姐姐一起交流，了解到之前没有过的知识之后去浅草寺的路上看到晴空塔👉最后的最后，能遇到一群很好的朋友实在是太棒了！！！！👉👉👉 收起 	 JENESYS2023中国青年公益事业交流团，分别参观了建筑垃圾处理再利用～生活垃圾处理厂～若竹园～感受了LRT的实际应用，为2050碳中和目标，全球都在努力。 2024-01-24 16:52 日本
2024 年 1 月 22 日（WeChat） 神田外国語大学での和太鼓と舞踏に感激。交流し、今まで知らなかった知識を学び、多くの素晴らしい友達に出会えて嬉しかったです。	2024 年 1 月 22 日（WeChat） 生活ごみと産業ごみの処理と再利用をする工場や、若竹の杜、LRT の実用化を実感。2025 年のカーボンニュートラル目標達成に向け、世界中が頑張っている。
友好会馆联合开展的中国青年公益事业交流团赴日访问交流之二 到达淡路岛，在淡路梦舞台上感受安藤忠雄的空间艺术，海之教会、贝之滨、圆形剧场、百段苑、山回廊、海回廊等，包罗万象的绿意与建筑群错落，是安藤忠雄建筑之大成 收起  2小时前	【公式】まち公_羽田 @omk_HIcity 【HANEDA×PIO及びHiCity視察対応】 先日、「JENESYS2023」中国青年公益事业交流団第2陣 第1分団（科学技術）26名の団員の方が視察のためHiCityを訪問いたしました。 当日、団員の皆様は、HiCityの説明を聞いた後、企業訪問（株式会社ニフコ・AI_SCAPE）を行いました。皆さん、ありがとうございました。  午前11:04 · 2024年1月24日 · 96 件の表示
2024 年 1 月 25 日（WeChat） 淡路島では、淡路夢舞台にて安藤忠雄の空間芸術、緑と建築群の絶妙なバランスは彼の集大成であると実感。	2024 年 1 月 24 日 (HANEDA INNOVATION CITY「HANEDA × PiO」) 企業訪問受け入れに關しての SNS 掲載

神田外語大学 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2023」で中国より大学生訪問団が来学 TOP > ニュース > インフォメーション > 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2023」で中国より大学生訪問団が来学 日本政府（外務省）が推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2023」は、日本とアジア太平洋の各国・地域との間で、両国を結ぶ人々の結びつき・共通文化をオンライン交流を通じて、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、日本の外交姿勢や能力等について参加者のうちで発展的な対日理解を促進し、日本との友好関係を強めることを目的としています。 2024年1月25日、このプロジェクトで中国本土から集まった大学生26名を代表する訪問団が来学しました。来学した大学生と交流を行いました。歓迎行事として、来学の学生によるパフォーマンスと中国の学生による入場スピーチのあと、来学のグループは「JENESYS」による入場スピーチの発表と、「JENESYS」による入場スピーチの発表を行いました。来学した中国の学生は訪問団から訪問団へ中国語でよびかけ、両国の学生が一緒に歌を歌う姿も見られました。 来学した学生は来学のあと、2号館K&Aカフェにて来学の学生との交流会を実施しました。交流会ではミニゲームに加え、来学した学生と来学した学生をテーマとしたディスカッションを通じてお互いの国について理解を深めました。 グループ1「JENESYS」によるパフォーマンス グループ2「JENESYS」によるパフォーマンス	    他が「いいね！」しました 今日は、コロナがあげて始めての中国からの お客さま 大学の先生とかオリンピックの関係お仕事してる人達です携帯使いながらのお話ですが、楽しく食事してくれました # #] #中国からのお客さま
2024年2月19日（神田外語大学） 国際交流受け入れについてのWEB掲載 年間行事や学生生活をテーマとしたディスカッションを通じてお互いの国について理解を深めた交流会の様子が紹介されました。	2024年1月25日（Instagram） ホームステイ受け入れ先からのSNS発信 コロナ後初の受け入れを喜んでいる様子が紹介されました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

グループ1（訪問地：熊本県）

【訪日中の学び】

- ・ 科学技術と芸術の融合について学んだ。

【テーマに関する訪日中の発表】

- ・ 日本人の平和への期待は中国国民の共通の願い。日本の科学、技術、文化の統合と革新についても興味深かった。また日本の一般家庭の子どもへの教育においても、礼儀作法や文化知識を非常に重視していた。

【アクション・プラン】

- ・ ソーシャルメディアで体験したことを発表していきたい。

グループ2（訪問地：栃木県）

【訪日中の学び】

- ・ 三富今昔村や焼却ごみ処理施設では、先進的な環境保全の考え方を学んだ。日光東照宮で歴史と文化を鑑賞し、田舎民宿で素朴で穏やかな地元の民俗と魅力的な風習と民俗文化を体験。

【テーマに関する訪日中の発表】

- ・ 代表団と一緒に学び、一緒に生活し、見知らぬ人から親しい人まで、深い友情を築き、日本で素晴らしい思い出を残しました。

【アクション・プラン】

- ・ この訪問の学習と交流の成果、両国の友情、そして中日両国民の平和と友好の物語を持ち帰ることができることを心から願う。

グループ3（訪問地：徳島県・兵庫県）



【訪日中の学び】

・日本人の熱意とフレンドリーさを感じた。民泊施設のご主人が私たちを家族のように接し、人生経験や家族の楽しい話を話してくれて、温かさを感じた。

【テーマに関する訪日中の発表】

・今日のジャパニーズモダンデザインは、ブランドデザイン、テキストデザイン、建築デザインなどの分野で「国籍と国際性が融合した」独自のスタイルを形成し、国際的にも高い評価を得ており、学ぶ価値のあるところがたくさんある。

【アクション・プラン】

・今回の訪問で見たアートやデザイン作品は私たちに多くのインスピレーションを与えてくれたので、大学教授として、この日本の経験を中国に持ち帰り、日本のデザインコンセプトを学生たちと共有したいと考えている。



【訪日中の学び】

・講義を聞いて、自分の建築的視野が広がり、建築と気候の関係について新たな理解を得た。また建築と気候、地理的環境について、日本の建築上の創意工夫を深く感銘を受けた。

・博物館の見学では、日本の歴史と文化の美術品だけでなく、そのユニークな展示方法と相まって非常に興味深く、日本人の芸術への愛情、広い芸術的視野と精神を感じた。

【テーマに関する訪日中の発表】

・今回の文化芸術交流を通じて、世界中の人々が同じように芸術や美を追求していることを深く理解することができた。また、中国と日本には多くの共通点があり、芸術と文化、文化の繁栄と発展を共同で促進できることを実感した。

【アクション・プラン】

・日中の民間文化交流に大きな自信と期待を持つことができた。この文化交流を通じて、中日両国の友好がさらに深まるものと確信している。このような交流は両国間の友好交流であるだけでなく、世界の文化的多様性を促進する重要な一歩であると同時に、両国国民の相互理解を促進し、中日友好関係に貢献したい。

実施団体名：イオンコンパス株式会社